

令和6年度 小学音楽 1年生 評価規準

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
<p>〈導入〉 どんなうたがあるかな ～ 「かたつむり」</p>	<p>(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに，範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>「ひらいた ひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p>	○			
	<p>範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。</p>		○				
	<p>(2) 拍やその流れ，速度，旋律のもつリズム，強弱，変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもったり，曲の楽しさを見いだして聴いたりする。</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>①「ゴー アンド ストップ」の，拍やその流れ，速度や強弱の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の楽しさを見いだして聴いている。 ②「かもつれっしゃ」の拍や速度を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 ③それぞれの音楽の，拍やその流れ，速度，旋律のもつリズム，強弱を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の楽しさを見いだして聴いている。</p>	○			○
<p>(3) 新しい友達と一緒に歌ったり，音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組み，様々な音楽に親しむ。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>		<p>①友達と一緒に歌ったり，音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ②友達と一緒にわらべうたを歌ったり，うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムと なかよし	(1) 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。				○
	(2) リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○		○	
	(3) 4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<p>〈おとの スケッチ〉 ことばの リズムで あそぼう</p>	<p>(1) 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりする。</p>	知識・技能	<p>言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。</p>			○	
	<p>発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。</p>				○		
	<p>(2) 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。</p>	思考・判断・表現	<p>言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。</p>			○	
	<p>(3) 言葉とリズムとの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リズムや打楽器に親しむ。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>言葉とリズムとの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うみ」(共通教材)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			「うみ」を、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「うみ」の拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	「うみ」の歌詞の、情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
どれみと なかよし	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
			階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。					○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
<こんにちは けんぱんハーモニカ>	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能を身に付けている。 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふぁそ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「まほうのど」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
もりあがりをかんじて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	○			
	階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。		○				
	(2) 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	○			
	(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい おと みつけて	(1) いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
	(3) 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、様々な楽器の音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう	(1) 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。			○	
(3) 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
きよくの ながれ	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	「すずめがちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
			「すずめがちゅん」の範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「すずめがちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	「すずめがちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
うたで まねっこ	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。		○		
(3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞	
		知識・技能	思考・判断・表現					
みんなで あわせて	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わり気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わり気付いている。	○				
			互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。	○		○		
	(2) 拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。					○
			拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくをつくろう	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。				○
			発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。				○
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。				
(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律づくりに親しむ。			主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			

○=本評価規準例における中心的な項目

令和6年度 小学音楽 2年生 評価規準

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
「朝の リズム」	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	「朝のリズム」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴きながら、「朝のリズム」を声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「朝のリズム」の旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム打ちを伴った歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	「朝のリズム」の歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 手びょうしりレーであそぼう	(1) 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	
	(2) 強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。				○
(3) 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
強さや はやさを かんじて	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
(3) 強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムや ドレミと なかよし	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			○
			互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	(2) リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。				○
(3) リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 音の かさなりや リズム を えらんで 合わせよう	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。				○
(3) 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、和音の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
くめざせ 楽き名人) 「かっこう」 「ドレミの トンネル」	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。	○		
			「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「かっこう」の旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○	
(3) 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
きよくに 合った 歌い方	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。		○	
(3) 曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈音の スケッチ〉 どんな音がきこえるかな	(1) 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	知識	身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	思考・判断・表現	音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	(3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、環境音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
いい音見つけて	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
			音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。			○	○
(3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
くっぽんのうた みんなのうた> 「夕やけ こやけ」	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	「夕やけこやけ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「夕やけこやけ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	「夕やけこやけ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
くめざせ 楽き名人> 「こぎつね」	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、階名で模唱したりリズムを聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	「こぎつね」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
			手の移動などの奏法や、階名で模唱したりリズムを聴いて演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	「こぎつね」の旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。			○	
(3) 曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	「こぎつね」の曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
おまつりの音楽	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見い出して聴く。	思考・判断・表現	太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見い出して聴いたりしている。				○
	(3) 太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや太鼓に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 おまつりの音楽をつくろう	(1) 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○
			音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	自分や友達がつくったリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○
(3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
きよくの ながれ	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
くりかえしと かさなり	(1) 曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
			互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見だして聴いたりする。	思考・判断・表現	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見だして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
みんなで 合わせて	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	(2) 拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、パートナーソングや合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「春が きた」	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「春がきた」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 「春がきた」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「春がきた」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「春がきた」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 みんなの 音楽時計を つくろう	(1) 音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	時計を表す音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			音型の反復や重なりなど、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。			○	
	(2) 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして「ウィーン音楽時計」を聴いたりする。			○	○
(3) 音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、時計を表す音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
クリスマスソングを 歌おう	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。				○
			互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。				○
(3) 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○	

○=本評価規準例における中心的な項目

令和6年度 小学音楽 3年次 評価規準

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
すてきな歌声で	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
楽ふとドレミ	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階、リズムの重なりなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		○	
			範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音、リズムの重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		○	
	(3) ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズム遊びやハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
歌声・音をひびかせて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容やリコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。	○	○		○
			呼吸及び発音の仕方や音色の響きに気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能や即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リコーダーの音色や旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かした表現の工夫やリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
せんりつの流れとへん化	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		○
			呼吸及び発音の仕方や音色の響きに気を付け即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。		○		○
(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
日本の歌・世界の歌	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けるとともに、呼吸及び発音の仕方・姿勢に気を付けている。	○			
	(2) 旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
曲に合った歌い方・演奏の仕方	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○	○		
			互いの歌声や音色、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、5音をもとにした旋律や輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした表現や声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
みんなで合わせて (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む、歌の表す物語や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
いろいろな音のひびき	<p>(1) いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。</p> <p>(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。</p>	知識・技能	<p>【知-①】 いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p> <p>【知-②】 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。</p>			○	○
	<p>(2) 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>(2) 楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。</p>	思考・判断・表現	<p>【思-①】 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>【思-②】 各楽器の音色、「ピーターとおおかみ」の各旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>			○	○
	<p>(3) 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。</p> <p>(3) 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、物語の音楽に親しむ。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>【主-①】 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組みようとしている。</p> <p>【主-②】 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>			○	○

○=本評価規準例における中心的な項目

令和6年度 小学音楽 4年生 評価規準

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
歌声ひびかせて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。	思考・判断・表現	歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。				○
	(3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ひょうしと せんりつ	(1) 曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、音を合わせて楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			○
			互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、音を合わせて楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 拍子とその違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	拍子とその違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
曲に合った歌い方・演奏の仕方	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造やリコーダーの音色と演奏の仕方との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○	○		
			呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能、サミングの技能、伴奏や副次的な旋律など音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや変化、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした歌唱表現や高音の響き、リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

4年 p. 32~33

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
かけ合いと重なり (3時間扱い・10月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			○
			互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 楽器の音やかけ合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音やかけ合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○			○
(3) 楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	西部の役割を生かして表現に興味をもち、楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
アンサンブルの楽しさ	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
			主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
ききどころを見つけて	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表げん	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○	○		
	互いの歌声や音、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌う技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 歌声や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	楽器の音色や歌声、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音や声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○=本評価規準例における中心的な項目

令和6年度 小学音楽 5年生 評価規準

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ひびけ歌声	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
和音や低音のはたらき	(1) 曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
声や楽器のひびき合い	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きや楽器群の響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	重ねる声や楽器群の響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや曲の演奏のよさを見出して、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			○
(3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや楽器群の響き、自分たちなりの表現や作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
ひびけ音色	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、歌ったり音を合わせたりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	<p>曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。</p> <p>各声部の歌声や音、全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏したり、自然で無理のない響きのある歌声で歌ったりする技能を身に付けている。</p>	○	○		
	(2) リコーダーの音色やフレーズ、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	<p>リコーダーの音色やフレーズ、声の重なる響き、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現を工夫したり、演奏したりするかについて思いや意図をもっている。</p>	○	○		
	(3) 声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱やリコーダーアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	<p>声部の役割を生かした表現や自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
日本の音楽・世界の音楽	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○	○			
	(2) いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。	思考・判断・表現	<p>①いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりしている。</p> <p>②いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見出して聴いている。</p>	○	○		○
(3) 我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	<p>①我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>②諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	○			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて	(1) 曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
心を込めて表現しよう	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	反復・変化・強弱や声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、短調の響きや合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
音楽のききどころ	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	「ます」第4楽章の各変奏の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	「ます」第4楽章の主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

令和6年度 小学音楽 6年生 評価規準

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
豊かに響かせよう	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴き、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む態度	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
短調のひびき	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。			○	○
主体的に学習に取り組む態度			長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (抜い時数・抜い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞	
演奏のみりよく (4時間抜い・5～6月)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	○				○
	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽	鑑賞	
めざせ 音楽名人	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。	○	○		
			各声部の音や全体の響きを聴いて、音や声を合わせ、響きのある歌い方で歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	○	○			
	(3) 声部の役割や全体の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や全体の響き、歌詞や曲の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
ひびき合いを生かして	(1) 曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱を楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
		知識	思考・判断・表現				
ききどころを見つけて	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。				○
	(3) バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○	○		
			各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
			(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音のスケッチ	(1) 旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
(3) 反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コードの音楽に親しむ。			主体的に学習に取り組む態度	反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
私たちの国の音楽	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりしている。	○	○		
(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。					○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
音楽に思いをこめて	(1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱や二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

